

# 付 編



付編1



1. 上幌内モイ遺跡 ⅢGP-01副葬品



2. 上幌内モイ遺跡 ⅢGP-02副葬品

付編2



1. 上幌内モイ遺跡 ⅢGP-03副葬品



2. フチャラセナイ遺跡 ⅢGP-02副葬品

付編3



1. オニキシベ2遺跡 ⅢGP-04副葬品



2. シヨロマ4遺跡 ⅢGP-01副葬品

付編4



1. 上幌内3遺跡 III GP-01副葬品



2. 上幌内3遺跡 III GP-02副葬品

付編5



1. 上幌内モイ遺跡 集中区1出土遺物(1)



2. 上幌内モイ遺跡 集中区1出土遺物(2)

付編6



1. 上幌内モイ遺跡 集中区2出土遺物(1)



2. 上幌内モイ遺跡 集中区2出土遺物(2)



付編7



1. シヨロマ4遺跡 集中区1出土遺物(1)



2. シヨロマ4遺跡 集中区1出土遺物(2)

付編8



1. 上幌内モイ遺跡 鍛冶関連遺物(集中区44及び包含層)



2. 厚幌ダム遺跡群 各遺跡出土鉄鍋

## 報告書抄録

ふりがな	あつまちょう しろま 1 いせき(2)
書名	厚真町 ショロマ1遺跡(2)
副書名	厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	17
シリーズ名	厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ番号	17
編著者名	奈良智法・乾 哲也・宮塚義人・高橋和樹・宮崎美奈子・松井 昭・山戸大知・矢野加奈
編集機関	厚真町教育委員会
所在地	〒059-1601 北海道勇払郡厚真町京町165番地の1
発行機関	厚真町教育委員会
発行年月日	2018年 3月9日
ふりがな	しろま1いせき
収録遺跡	ショロマ1遺跡
所在地	勇払郡厚真町字幌内93-1・2・3
市町村コード	015814
遺跡番号	81
北緯	42° 46' 38"
東経	142° 0' 14"
調査期間	2014年9月2日～10月31日/2015年5月13日～10月31日/2016年5月11～10月31日
調査面積	2014年 853m <sup>2</sup> /2015年 7,855m <sup>2</sup> /2016年 5,106m <sup>2</sup>
調査原因	厚幌ダム建設
種別	集落跡
主な時代	中世アイヌ文化期、擦文文化期、続縄文文化期、縄文時代早期～後期。
主な遺構	中世アイヌ文化期:集中区1ヵ所(焼土・礫集中含む)、焼土2ヵ所、擦文文化期:集中区3ヵ所(土坑・焼土・土器集中、遺物集中含む)、続縄文文化期:土器集中2ヵ所、縄文時代:竪穴式住居跡1軒、土坑墓1基、土坑8基、焼土9ヵ所、Tピット138基、土器集中21ヵ所、礫集中1ヵ所、剥片石器集中3ヵ所、石斧集中1ヵ所。
主な遺物	Ⅲ層:擦文土器、石器、礫 V層:土器(柏木川式、北筒式、余市式)、石器、石製品、石棒。

### 要 約

平成26～28年度の発掘調査ではアイヌ文化期、擦文文化期の遺構・遺物が希薄であるが、集中区を4ヵ所検出しており、うち2ヵ所は調査区東側の厚真川段丘縁辺部に分布範囲が認められた。集中区4、7とした範囲は長軸上に並ぶ焼土と礫集中のまとまりがみられたが、柱穴を伴わないため屋外の作業場と思われる。縄文時代においては平成25年度に比べ竪穴式住居跡が1軒と少なく、Tピットの構築率が高いなどから、台地の北側は狩猟場として利用されていたと考えられる。Tピットは規格ごとに幾つかの配列が認められている。

厚真町 ショロマ 1 遺跡 (2)

—厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 17—

発行日 平成 30 年 3 月 9 日

編集・発行 厚真町教育委員会

〒059-1601 北海道勇払郡厚真町京町 165 番地の 1

TEL (0145)-27-2495 FAX (0145) -27-3178

印刷 ひまわり印刷株式会社